

免疫チェックポイント阻害薬使用中に 注意すべき症状

免疫チェックポイント阻害薬
投与に注意が必要な方

- 間質性肺炎と診断されたことがある方
- 自己免疫疾患と診断されたことがある方
- 心臓に病気のある方

免疫チェックポイント阻害薬や免疫細胞の点滴後に
以下のような症状がみられたら、医師に相談してください。
特に下線を引いた症状が発現した場合はご注意ください。

目がかすむ、見えにくい

▶ ブドウ膜炎の可能性があります。

**いつもより疲れやすい(倦怠感)、
体重の増減、行動の変化がある**

(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど)、
からだがだるい

▶ 甲状腺、下垂体、副腎など内分泌機能異常の
確認が必要です。

皮膚や白目が黄色くなる

▶ 肝障害の疑いがあります。

**尿量が減る、血尿が出る、
むくみが強い**

▶ 腎障害の疑いがあります。

口渇、多飲、多尿

▶ 1型糖尿病の疑いがあります。

**運動のまひ、感覚のまひ、
手足のしびれ、手足の痛み**

▶ 神経障害の疑いがあります。

**息苦しい、足・腕に力が入らない、
ものが二重に見える**

▶ 重症筋無力症、筋炎を起こすことがあります。

嘔吐、体の痛み、精神状態の変化

▶ 脳炎の疑いがあります。

白斑、白髪(主にメラノーマの患者さん)

▶ 肌や髪に脱色がみられることがあります。

不整脈、心筋梗塞様胸痛

▶ 急性心筋炎の疑いがあります

腫れ、むくみ、胸の痛み

▶ 静脈血栓塞栓症の疑いがあります。

**痰のない乾いた咳が出る、
歩行時などに息が切れる**

▶ 間質性肺炎の可能性があります。
症状がみられたら、風邪と思いきまず、
ご相談ください。

**血便・黒い便が出る、
腹痛を伴う下痢**

▶ 大腸炎の可能性があります。

皮膚がかゆい、発疹が出る

▶ 皮膚障害が起こることがあります。

水ぶくれが出る、ひどい口内炎

▶ 重症の皮膚障害の可能性があります。

肺、肝臓、腎臓、皮膚などに対する
過剰免疫反応により発熱することがあります。

※玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。

緊急連絡先	電話番号	03-3943-0022
	病院名	N2クリニックホテル椿山荘東京院
	担当医	野村 紘史

(オプジーボ使用中に気をつける症状: 小野薬品工業株式会社 ブリストル・マイヤーズ株式会社の資料を改変)